

大型クラゲの出現状況

(平成 23 年 7 月中旬現在)

(独) 水産総合研究センター及び関係機関が行った調査によると、大型クラゲの出現量は以下のようにかなり少ない状況で推移しています。

- ・ 日本ー中国間を航行する国際フェリーを使った目視調査により、6月7日、長江河口東沖の東シナ海北部海域において、少数の大型クラゲの出現を確認しました。現時点での出現量は、昨年同期の約半分程度と、少ない状況です。
- ・ 6月15日～21日の国際フェリー目視調査及び6月14日～20日の西海水研・陽光丸による東シナ海大型クラゲ分布調査では、大型クラゲの出現は確認されませんでした。
- ・ 7月12日に国際フェリーを利用した対馬海峡における大型クラゲの目視観測では、大型クラゲは確認されませんでした。

資料：(独) 水産総合研究センターのホームページ
(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/index.html>)

このように、今季は大型クラゲの来遊量がかかなり少ない状況が予想されますが、2007年(平成19年)のように時期が遅れて大量に来遊してきた年もありますので、今後の情報にご注意ください。

担当 秋田県農林水産技術センター
水産振興センター

海洋資源部 高田

電話 0185-27-3003

Fax 0185-27-3004